

令和2年度 施設長会（10月） 会議資料

（川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会）

— 議 題 —

- 1 各プロジェクト委員会の進捗状況について …資料1

- 2 情報交換会について …資料2

- 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会
 - (1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について …資料3
 - (2) 第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第19回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会について …資料4

- 4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会（首都圏高齢者福祉協議会）
 - (1) 平成31年（令和元年）度決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査及び新型コロナウイルス感染症による収支への影響調査の実施について …資料5

- 5 その他
 - (1) 川崎市社会福祉協議会会員及び会費制度等検討員会について
 - (2) ShareSmile かわさきについて …資料6
 - (3) 人材バンク・高齢センターより

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1 災害プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

第2回 / 9月26日(月) 15時～

※高齢者事業推進課・庶務課・大城先生も出席

(2) 協議概要

・報告事項

①東京都高齢協－WEB研修会「水害、台風などの災害に備えて

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/news/2020-0911-1013-14.html>

②神奈川県 DWAT について ※別紙参照

・協議事項

①災害に関する研修会等の開催について

千葉県高齢協に台風15号での被災状況報告及び団体として被災状況に行った支援についてお話していただく研修会を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、千葉県高齢協の方に来ていただく企画については一旦保留とする。

→ その代わりに、施設の防災・避難計画、BCP等を再確認するための研修会を企画

内容：BCP未策定施設が作成に取り掛かるきっかけを作るとともに、

BCP策定済み施設に対してもBCPを再検証する機会を設け、

市内施設のBCP策定率向上並びに災害対応の充実を図る

講師：①あいおいニッセイ同和損害保険(株)代理店 株式会社ディフェンス または

ニュートン・コンサルティング株式会社 ※いずれも平成29年度に研修会の際に講師依頼

②既にBCP策定済み施設

方法：オンライン

※オンライン参加出来ない施設もあるかもしれないため、

実際の会場を確保または録画したものを後日配信する

時期：11月～12月中旬

※市内老人福祉施設のBCP策定状況については、高齢者事業推進課より情報提供して頂く

②応援職員の受入れマニュアルの作成

マニュアルの雛形を作成するにあたって、本マニュアルの目的について再確認

「二次避難所（福祉避難所）応援職員向けマニュアル」となっているため、二次避難所の具体的な在り方が確立されていない中では想定が難しい。

※庶務課より、二次避難所の考え方については、このマニュアルの作成とあわせて行政としても早急に関係部署と調整を進める

※大城先生より、この内容であれば、二次避難所（福祉避難所）に限定するのではなく、今回の新型コロナウイルス感染症により応援職員を受け入れた場合にも応用ができると考えられるので、そういったことも踏まえて作成した方が良いと思う。

→ 目的については再度修正し、次回の委員会で再確認

※災害時に被災施設へ職員を派遣した経験があり、実際に活用した受入れマニュアルがあれば、情報提供して頂きたい。

③二次避難所（福祉避難所）の円滑な運営に向けた検討について

昨年度幸区で行った川崎市総合防災訓練の中でのクロスハート幸・川崎での福祉施設初動訓練、二次避難所開設訓練を参考に各区単位あるいは各施設で取り組めるシナリオの作成

→ 今年度の川崎市総合防災訓練はまだ日程や内容について未定 ⇒ 11/8（日）等々力競技場

※平本委員長より、自施設で行った訓練について情報提供

④施設間連携及び情報共有について

老人福祉施設事業協会の既存システムを活用した情報共有を前提に、実際に被災した際の近隣施設（区単位）との連携について

→ 近隣施設（区単位）との連携については、合同訓練を行うだけではなく、具体的な協定等についても検討が必要なのではないか。

⑤その他

（川崎市より）

・台風等の風水害時における居宅要介護高齢者等の避難先確保に向けたショートステイ等の積極活用について

・台風等の風水害を想定した情報伝達訓練の実施について

※いずれも 10/1（木）高齢者事業推進課よりメールにて案内

かながわ災害福祉広域支援ネットワーク運営要綱

(趣旨)

第1条 災害救助法が適用され又は適用される可能性があると認められる程度の災害（以下「大規模災害」という。）の発生に備え、関係団体等と協働し、大規模災害時における高齢者や障害者など特に配慮を要する者（以下「要配慮者」という。）を支援するため、かながわ災害福祉広域支援ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 ネットワークは、次に掲げる事項を所掌するものとする。

- (1) 要配慮者の支援に向けた情報共有等の連携に関すること。
- (2) 要配慮者の支援に係る派遣人材の育成に関すること。
- (3) 大規模災害時における福祉的ニーズの把握に関すること。
- (4) 大規模災害時における要配慮者の広域支援の調整に関すること。
- (5) その他必要と認められる事項に関すること。

(組織)

第3条 ネットワークは、別表に掲げる団体等で構成する。

(運営)

第4条 連絡会等は、必要に応じて開催する。

(事務局)

第5条 ネットワークの庶務は、神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課が行う。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、ネットワークの運営に必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年7月26日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年5月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年2月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

かながわ災害福祉広域支援ネットワーク 構成員

区 分	団 体 等 名
福 祉 関 係	一般社団法人 神奈川県介護支援専門員協会 公益社団法人 神奈川県介護福祉士会 一般社団法人 神奈川県高齢者福祉施設協議会 社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 神奈川県身体障害施設協会 神奈川県知的障害施設団体連合会 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 一般社団法人 神奈川県老人保健施設協会 一般社団法人 相模原市高齢者福祉施設協議会 公益社団法人 横浜市福祉事業経営者会
行 政	神奈川県

2 人材プロジェクト委員会

(1) 委員会等実施状況

第3回 / 9月16日(水) 14時～

※協議内容に入る前に、「外国人介護人材(特定技能)」についてミニセミナーを開催

(2) 協議概要

・報告事項

行政が実施する各種人材確保施策の周知等について

→ 市内在住または市内介護サービス事業所等で働いている方や、これから就労する予定の方などが、行政で実施している人材確保等の各種サービスに係る情報を入手しやすい環境を作り、さらなる活用を図っていくため、福祉人材確保施策の各事業者等(人材バンク・高齢センター・シグマスタッフ 等)との情報交換会を今後行っていきたい。

・協議事項

各ワーキンググループの進捗状況について

○人材定着グループ

⇒ 各施設に協力して頂いた「コロナ禍における人材育成(研修)の取組みについて」、アンケート結果を報告 ※別紙参照
結果を参考に各施設の現状や工夫点(少人数・短時間・オンライン開催等)について、情報提供等を施設長会や研修機関に対して行う。

○人材発掘グループ

⇒ ・大師小と大師の里のオンライン学習

当日: 9月25日(金) 13時30分～ ※別紙参照

・ハローワークやだいJOBセンターとの連携

日時: 8月27日(木) 午後2時から

場所: ハローワーク、だいJOBセンター

内容: コロナ禍でのハローワークやだいJOBセンターの状況を伺い、

老施協人材プロジェクト委員会として今後連携できることがあるか話を聞く

(ハローワーク)

・通常の窓口業務では、これまで相談者が来ても長時間の話は聞けず、失業手当の窓口で相談者を流す傾向がこれまで強かった

- ・福祉、介護の仕事 専門相談はかながわ福祉人材センターと連携して開催している
- ・ハローワークとして「福祉の仕事」説明会を開催しており、これまでは職員が資料や DVD を見ながら実際の福祉現場について話をしていた。

→ 10/20～10/30 の間で開催予定

⇒ 福祉セミナー：10月23日(金)13時30分から15時

内容(概要)：初心者向け、働き方、キャリア形成、選び方

※当日参加者に直接福祉の求人情報をお渡しするために「福祉のお仕事」サイトへの

求人情報の登録依頼 10/15(木)各施設あてメール送付

(だいJOBセンター)

- ・昨年は年間約1,400名の相談者だったが、この4～6月の間で正確な集計が出来ていないが、2,000～3,000名の相談者が来ている
 - ・就労支援として相談者の方に提示する情報はハローワーク、だいJOBセンターが独自で開拓した企業の情報、パソナ等を紹介している。
 - ・就労となっているが、雇用形態は正規職員という形には限定していない
 - ・だいJOBセンターの場所の特徴として、外国の方などの相談も多くあるが、施設として外国の方を受け入れていただくことは可能なのか
- 外国の方や無資格、未経験の方を受け入れている施設もある

・スケッター

日時：8月26日(水)午前11時から

内容：スケッターについて、導入事例を用いながら説明を受ける

→ ワーキンググループで話を聞いたので、一度人材プロジェクト委員会として話を聞いてみる
(日程調整中)

○人材に関する情報収集、提供グループ

⇒ 新型コロナウイルスの影響もあるので、行政やハローワーク等との情報交換会を行いたい。
また、求職者に向けて、川崎市の高齢者施設の求人について、何か一体となったキャンペーンを行えないか引き続き検討する。

次回：第4回実行委員会

11月18日(水)14時～ オンライン・エポック中原

集計結果（30施設回答）※20201015 現在 コロナ禍における人材育成（研修）の取組みについて（アンケート）

春先の年度替りの大切な時期から、新型コロナウイルス感染予防の取組みに追われ、様々な行動制限が出される中、人が集まり、語り合い、交流する機会はほとんど奪われてしまっています。

人材育成に向けて、今年度も様々な研修企画がされていた施設も多いかと思いますが、外部研修の活用もままならない中、各研修への取組みの工夫について皆様からお声をお寄せいただきたいと思います。

施設の規模も職員体制も異なる中、共通の取組みは難しいですが、市内の施設で情報を共有して参考にさせていただき、各施設における人材育成に役立てたいと思います。ご多忙の折、お手数をおかけしますがご協力ください。

川崎市老人福祉施設協議会 人材プロジェクト委員会

問1 施設内研修の実施について

1	例年通り実施している
27	研修方法を工夫、変更して実施している ⇒ <u>問2へ</u>
2	OJT研修のみで集合研修は中止している
0	その他

問2 実施方法の工夫について（複数回答可）

18	フロアごと、ユニットごと、部署ごとなど規模を縮小して、小単位で研修を実施している
8	リモート等を活用して研修を実施している
15	会議・委員会の場等で資料配布をしてミニ学習をしている
5	その他

（意見等）

- ・人数を10名以下など最小限にとどめ30分以内に終了させている。
- ・部署毎に新任職員と中堅職員を参加させ、伝達講習をしてもらっている
- ・研修資料の閲覧
- ・密にならない広い場所を使用し実施している
- ・受講者同士の座席の間隔を空け、会場の換気をしながら実施している。
今後はリモートも検討している
- ・職員個々に、テーマについて文書の提出を行い、管理者が添削を行っている。

問3 コロナ禍における外部研修の実施方法についてご意見をお寄せください。

【オンライン（リモート）】

- オンライン研修が望ましい。
- 研修自体は、リモートの対応のある外部研修の参加としている。
- オンライン等（移動を含め）密にならない工夫。少人数での開催（分散開催等）
- リモートのみでの参加の研修が増えているが、機材の準備の手間や環境設定の困難さを鑑みると、リモートと会場での参加を選べる実施形態だと、参加しやすいと思います。
- 現地に赴くのは密の状況も読めない為出来る限り避ける様になっているが、リモートでの研修については積極的に参加している。リモートでの研修はやり方次第では非常にわかりやすくもなり、有効と実感している。
- リモートであれば実施した
- Zoom を活用したオンライン研修を実施していただくと参加しやすい。
- リモートでの研修を可としている研修会に参加・実務者研修・特定行為の研修等、人事・運営に必要な研修のみ行える研修機関を探して参加。
- オンラインであれば参加を検討したい。対面は感染予防の観点から難しいと考えている。
- 法人で加入している「グローイング・アカデミー」のオンデマンド講座研修の受講を推進している。
- 集合研修への参加はしていない。
定員を減らしての開催となっても、フロアごとのスタッフの交流や接点も避けているような現状もあり難しい。eラーニングのような仕組みの活用、導入も必要と感じる。WiFi環境の整備を進めている。オンライン研修の活用方法も助言してもらえると助かる。
- 外部への研修は必要以上には参加をしていない。オンラインでの研修がある場合は、オンラインにて参加をしている。
- リモートの活用、研修の録画（DVD）などの配布、少人数での実施など
- リモートで参加できるもののみ実施
- 外部研修については、事前に規模や開催主体、感染症の対策を講じているか、受講生自身にもどの程度求めているかを確認して参加させています。リモートでの受講が可能であればリモートでの出席も積極的に行っています。
- 集合研修は、申し込んでいた研修がキャンセルとなる事が相次いでいます。企画段階から、リモート寄りにして、開催確実な企画をお願いいたします。
- 小学校など講師として外部に行く研修は中止。外部研修の受講については、内容により出席もありますが基本的にはリモートで出席しています。

【対策】

- 法人内での研修の際には、法人で作成した研修参加に伴う感染予防対策についての文章を参考に、職員へ注意事項等を伝えている。他の外部研修も、文章化された注意事項等があるとわかりやすく、参加する際も安心できるのではないかと。
- 施設環境が様々な中で、外部研修にでかけていくことは躊躇してしまう。講師を招いての研修に切り替えたいと思う。
- 三蜜回避の徹底された研修のみ参加している。

- 人数を絞って開催出来ればと思う。グループワーク等がリスクとなるので、マスクのみならずフェイスガード等工夫が必要。
- 自己申告になるが体調に問題がないことを確認し、当日は会場で検温した上で実施する。通常はマスク着用としディスカッション等のワークはマスク+フェイスシールド着用する。出入り口や要所に手指消毒剤を配置し使用を促す。席は 1.5m以上離れる人数枠で行う。
- 外部研修への参加はあまりできていませんが、研修開催時の感染症対策を考慮するとともに、当施設から参加する職員においても健康管理を徹底し、体調不良や異変が少しでもある場合は参加を取りやめます。
- 対面授業が必要な研修においては、主催者側による感染予防策と、受講者に求める感染予防策を事前に周知し、徹底することが大切だと考えます。

【未実施等】

- 外部研修への参加、外部からの講師による講習は控える
- 集合による研修への参加は促進できない。
- 外部研修については未実施
- 実施していない
- 川崎市からの新型コロナウイルス感染症予防出前講座は受講しました。

問4 人材定着に向け、人材育成には力を入れていらっしゃると思いますが、研修全般についてご苦労や課題等、ご意見をお寄せください。

【コロナ】

- 大学の授業が全てオンラインになっており、様々な工夫がされている様子。学生の方が活用方法を熟知しているようだが、時代遅れの私達をサポートしてもらえような仕組みがあると良い。
職員同士がコミュニケーションを図るような機会も減っており、周知する内容は文面での回覧等しているが限界を感じる。やはり対面での話し合いは必要。
- コロナ禍で施設全体での研修は困難であるため小単位で行っており年間研修に加えコロナ対策等の研修もある。
人材定着には安心して働ける職場を職員は望んでいるが、現状では不安を抱えながらコロナと向き合っている。
- with コロナの環境下では通常業務にも制約があるため、OJT を今までと同じ様に実施できない。
- コロナ禍で日常業務が多忙になったため、人材育成のための個別教育ができていない現状です
- 大人数での研修の実施が行えていないため、限られた職員のための研修が多くなってしまう。
- 施設内で換気が行え、距離をとって研修を行える場所が限られてしまう。
- 研修後の消毒作業にかかる、物品の確保と提供について、保有数が少ない施設と多い施設で差が出てしまう。
- 職員がコロナの影響で公共交通機関を利用した研修を敬遠している。
研修に参加する時間（人員）の確保。

- 集合研修を行う事が難しい
施設内研修をリモートで実施する場合、集合研修に比べ機材の数や場所の確保が難しく、参加できる人数も限られてしまう
- 人数の縮小などで参加割合が1割にも満たず質の確保が難しい。伝達講習にも限界がある。
- 現在は新型コロナウイルス感染症対策の影響にて、施設内・外部研修とも従来通りの実施や参加ができていない状況で、人材育成に影響があります。今後、このような状況のなかでどのように研修を実施、参加していくかが大きな課題です。
- WEB研修事業と年間契約し、都度、期間を定めて全員参加で法定研修を実施しています。
小テスト付きのため、出欠及び研修報告の代替として提出してもらう方式としたので、参加人数が倍化した。法定研修以外も活用しているが、内容の効果測定はこれからの課題です。
新人育成では、コロナ自粛により通常のOJT経験が狭まっているので、今後のフォローが必要と感じています。
- 三密を避けるように工夫をしていますが、短い時間ではすべて伝わらないことが多い。e-ランニング等を使用しているが、ディスカッションが出来ないため、研修中の質疑応答等の確認ができない。
- 全員参加が難しく事後回覧となっている。人数が少なく研修に参加できるような調整が難しい。準備する時間を作るのが難しい。全職員向けの研修が中心で、レベルを分けて実施する研修ができていない。
- 1つのテーマの研修会を、開催日時を変えて複数回企画し、交代勤務であってもいずれかの研修会を受講できるよう工夫しています。職員所帯が多くなればなるほど、理念や方針、考え方や対応方法については、職員一人一人に伝える必要があるため、全職員が受講しやすい（受講できる）開催方法を、常に検討しています。
- Wi-Fi環境・リモート機器の整備に課題があるので、補助金等の活用推進したい。そういった情報交換の場づくりがあってもよいのかと思います。
介護保険制度改正も控えており、それに合わせた研修会の企画も必要と思います。
- 人材育成及び定着は、地域の人たちを巻き込んで（例えば小学生に対して施設を体験してもらうことや、中高生のボランティア体験など）施設内で行うことも重要ですが、コロナの影響で現在皆無となっています。学校側にもリモートの提案をしていきたいと考えています。
喀痰吸引のojt研修について、現在施設で吸引が必要な方がいないためできません。訓練用の人形などを貸してくれるところをさがしていますが安価で借りれるところがなく困っています。

【その他】

- 仕事を続ける動機が世代間により異なるため一色たんの研修は効果が見込めない。24時間のシフト勤務のため一堂に集まれる時間、場所、人数が限られている。全体的に我慢して過ごす傾向にありアンガーマネジメントを如何に行うかが重要と考える。
在宅勤務や外出自粛等でできた隙間時間を自己啓発に充てられる職種もあるが、多くはそうではない。

- 他分野からの転職組も多いため、社会福祉法人の目指すべき姿や施設として求めている職員像等、専門職のスキル以外の研修にも力を入れています。また、専門職の転職組も時代の流れか帰属意識に乏しく、安易に転職されるので組織人としてはいつも初級に等しく感じています。

ベテラン専門職と一緒に施設づくりをして行くには、定着することの意義を働きかける研修も必要かと思います。

管理職に対する職員定着の研修は良くありますが、点々と転職している専門職の方向けの定着研修があっても良いのではないかと思います。

- 中堅職員向けの研修内容や方法についてどうしたらいいか悩んでいる
- 目標達成をどこに設定するか職員ごとに中間管理職・管理職が把握しているか本人のできる・できていると、他人からのできる・できているが一致するような評価が難しい。
- 無資格未経験者や外国籍の職員への研修内容、資料等に苦勞している。
- 感染予防、虐待防止、認知症、事故防止等実施を義務付けられている研修が多く、日常業務や運営への負担になっています。
- 研修での学びを実践してもらい、手ごたえ等を感じられながら職務に就いてほしい。
- 人材不足から研修にかける時間が取りづらくなっている
- 実習生の受け入れについて学校により温度差がある。
- 施設内研修は夜間に行うことが多くあります。日中の研修は課題です。
- 研修も実施している余裕がない

大師小×大師の里 9/25オンライン交流 スケジュール

基本情報

- ・大師小学校4年生120名(3クラス)を対象(先生は各クラス1名の計3名)
- ・川崎市社協のzoomアカウントにて開催

※当日のアカウント名(学校側) 大師小学校 ○組 △△ ←△には先生の名前
(施設側) 大師の里 講話・交流用、見学用

<注意事項>
参加者はアカウント名を明記、
発言する時以外はミュートに設定する

時間		所要時間	内容	大師小学校	大師の里	備考	役割分担
13:00	13:30	30分	準備	zoom起動	zoom起動		(学校側) 進行: ○○先生 記録: 市社協職員
13:30	13:33	3分	①あいさつ(○○先生) ②紹介 (学校の先生から大師の里紹介後、古敷谷施設長からあいさつ)	○○先生	古敷谷施設長	※ふれあいルームでスタンバイ	(施設側) 進行: 古敷谷施設長 記録: 市社協職員 zoom操作: 金子 【操作】録画開始
13:33	13:50	15分	高齢者(施設)について (講話・施設見学)		【講話】ノートPC 高齢者について (地域包括支援センター センター長)	※センター長の質疑応答の順番 1組→2組→3組→3組→2組→1組 ※センター長からデイサービス職員に 振ってバトンタッチ	【操作】 スポット: 地域包括支援センター センター長 (画面共有あり)
		5分			【見学】 高齢者施設について 話す人: デイサービス職員 撮影: 古敷谷施設長(携帯またはiPad) デイサービス・車いす・福祉車両の紹介	※撮影時の移動中にカメラが揺れて酔う可能性があるため、要注意	【操作】 スポット: デイサービス職員
13:50	14:10	20分	交流 ①自己紹介(利用者さんの紹介をデイサービス職員) ②質疑応答(先生とセンター長が補足しながら)	○○先生・各クラス担任	【交流】ノートPC 職員: 地域包括支援センター センター長 デイサービス職員 利用者: 3名 ①Aさん ②Bさん ③Cさん	※質問事項は事前に渡しておく ※ふれあいルーム使用 TV用意	【操作】 スポット: 学校と施設を切り替え
14:10	14:15	5分	①あいさつ(古敷谷施設長) ②まとめ(○○先生)	○○先生	古敷谷施設長		【操作】録画終了

ネット環境 等

- ・大師小学校
各クラスにPC、大型モニターがあり、クラスごとに参加
- ・大師の里
iPad(市社協より) - 施設見学&デザリング使用
ノートPC(市社協より) - 講話、交流時使用

	【質問事項】	【回答者】
1組	①普段どんな生活をしていますか。	Aさん
	②つらい時はどんなときですか。その時に私たちにできることはありますか。	Bさん
	③体の一番大変なところはどこですか。それはどうしてですか。	Cさん
2組	④大師の里でしていること(1週間の予定なども)教えてください	Aさん
	⑤今一番うれしいことや、楽しいことは?	Bさん
	⑥今生きがいとしていることは何ですか。	Cさん
3組	⑦普段どれくらい外出していますか。	Aさん
	⑧外出や歩くときに心配なことは。	Bさん
	⑨普段使っている道具(杖など)はありますか。	Cさん

ミーティングID

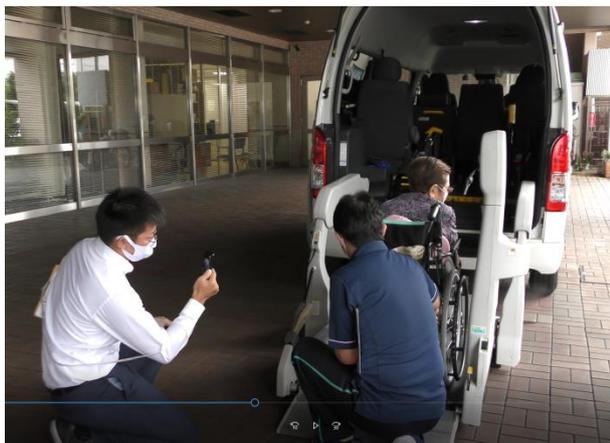
: 123 456 789

パスコード

: Shakyō

オンライン学習（大師の里×大師小学校）

当日の様子 ※動画あり



振り返り

【施設】

- ・事前準備をしていましたが当日カメラワークが上手く出来てなかったようなのでそれが残念でした。改善点はまだありますが、一番の目的である児童と高齢者の交流を実現するために今後も取り組んでいきたいと思えます。
- ・事前に質問を考えていただいたので、受け答えはスムーズにできていたと思えます。カメラを通しての音が多少聞き取りにくい部分もあったようですが、利用者の方々からは「緊張はしたものの、話ができて良かった」とのお言葉をいただきました。

(見学者)

- ・初めての試みなので、課題はありますが、オンライン環境等だけで、企画内容はとても良かったと思えます。当施設でも課題はありますが、出来そうな感覚をもてました。
- ・内容としてデイサービスの利用者様たちもオンラインで子ども達の質問に対して職員がフォローすれば受け答えできており、利用者様たちのパーソナリティもあって、楽しい会話・あたたかい交流が出来ていたので大変良かったと思う。

【学校】

- ・介護車や入浴設備、ぬりえや折り紙などの活動をしている様子を見せていただいたのは、施設の様子がよく分かったようです。交流後の感想は、高齢者擬似体験とのギャップから「つらい思いをしているのかと思ったけれど、ぬりえや将棋など楽しい活動をしていることがわかった」「できないことがあっても、自分はこうなんだと思って明るく過ごしていることがわかった」という内容が多かったです。
- ・利用者様の名前をあらかじめ教えていただいたのも、子どもたちなりに〇〇さんは～とふりかえることができ、個人に焦点が当たりよかったと思っています。

【教育委員会】

- ・実際の訪問では実物が見えるという良さはあるもの子どもによっては「よく見えなかった、よく聞こえなかった」ということがつきものです。その意味で全ての子どもにそのものがよく見えたというのは映像の良さといえるでしょう。
- ・交流はオンラインならではの双方向感があってとてもよかったです。実際に利用者様が答えてくれている姿を見ることができた、これは非常に価値の高い経験だと思います。
- ・オンライン学習のすぐ後に振り返りが出来るのは大変素晴らしかったです。記憶が新鮮なうちに考えることができ、これもオンラインでの体験学習の長所でしょう。

機材一覧（参考）

- ・パソコン2台（操作説明用・投影用）
 - ・テレビ（投影用）
 - ・Webカメラ、三脚（撮影用）
 - ・マイク&スピーカー
 - ・iPad（デザリング用）
- ※有線がある場合やWiFi環境の場合には不要
- ・ケーブル（HDMIとVGAの両方用意）
- ※パソコン、テレビによって接続端子が異なるため
- ・電源延長コード
 - ・ヘッドセット、マイク
- ※使用していないが、本当はマイクを使用した方が声もしっかり伝わり、ヘッドセットの方が相手の声も聞きやすい。

（Webカメラ、三脚）



（マイク&スピーカー）



（ヘッドセット、マイク）



報告 情報交換について (8/26)

日 時：令和2年 8月26日（水）施設長会終了後

会 場：てくのかわさき 2階 ホール・リモート

テーマ：「新型コロナウイルスに対する施設運営状況について」

内 容：①報告（情報提供）

- ・新型コロナウイルス感染症への対応ポイント～発症施設の状況から～
（東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
新型コロナウイルス対策委員会）※取扱注意
- ・その他（公益社団法人全国老人福祉施設協議会）

<https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-single-entry&type=contents&pot=325685>

②情報交換

- ・「新型コロナウイルスに対する施設運営状況について」

※配布しておりますシートを参考にしながら、情報交換をお願いいたします。

（アンケート結果）

- ・情報交換時に実際に新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た施設から直接お話を聞くことができ、とても参考になりました。
- ・情報交換の時間が会議の関係で少なくなり、参加される方も少なくなってしまったのは残念だが、有意義な情報交換でした。
このような時間があると日頃施設長ならではの困りごとを聞ける機会になる。
- ・今困っていること、気がかりなことを語り合い情報共有しましたが、雑談でも他施設の状況を聞けるのはプラスになる。大変なのはどこも同じという気持ちになれる。
時間が短く物足りなさはあった。東京都高齢協の資料は参考にしたい。
- ・それぞれの困りごとを共有出来て、効果的だった。
施設名と施設長の名前の名簿があるとグループワークしやすい。
東京都高齢協の情報（読み上げ）は有効。頭も集中出来てグループワークへ入れました。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する助成金
※特に緊急包括支援事業（介護分）のうち、「感染症対策を徹底した上でサービス提供をするための経費への支援について」（県が窓口）
- ・今後も新型コロナウイルス感染症に関する情報交換をお願いします。

神奈川県社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 各課題別プロジェクト会議の進捗状況報告について

1 災害対応プロジェクト会議

(1) メンバー

牧田施設長（片平長寿の里）、平本施設長（すえなが）、松田施設長（風光）

(2) 会議等

日 時： 月 日（ ） 時～

会 場：

内 容：

2 人材確保対応プロジェクト会議

(1) メンバー

依田施設長（金井原苑）、仁科施設長（桜寿園） ※磯野会長担当プロジェクト

(2) 会議等

日 時：10月6日（火）14時～

会 場：オンライン

内 容：魅力発信に向けた具体的な取組みについて 他

（対象）

- ・無資格、未経験者にスポットを当てて県全域の会員組織（協議会）ならではの魅力発信に取り組む。

すそ野を広げる取組が各法人や関係機関、団体等で進められているが、無資格、未経験者の採用状況や課題について整理されたバックデータは少なく、福祉の仕事に関心を持ってもらうには何が必要か情報を集約、共有し、より効果的な取組方法を検討していく必要がある。

プロジェクト会議の施設における現状や課題を整理しながら、人材センター等関係機関、団体との連携を図り、県内での必要な人材確保につなげる。

（取組内容）

- ・プロジェクト会議の施設で採用された無資格、未経験者へのヒアリング、アンケート調査の実施を通じて、相互の情報を共有する。
- ・福祉に少しでも関心を寄せている方々が、希望、期待していることは何か、福祉の仕事に魅力を感じてもらえる方法は何か を考え、より効果的な取組方法を検討する。

(意見等)

- ・人材センターや人材バンクをはじめ、関係団体がお互いどのような取り組みをしているのか施設側の感覚としては、様子がわかりにくい部分がある。

そこを知り合うことで、協力の仕方がわかってくるのではないか。

- ・無資格、未経験者の採用状況や課題について整理されたバックデータは少ない。まずは、そうした方々へのヒアリング・アンケート調査を実施し、福祉の仕事に関心を持ってもらうには何が必要か情報を集約・共有するところから始めてはどうか。

→ プロジェクト会議メンバーを対象としたヒアリング（アンケート）について

100人を目標として、プロジェクト会議メンバーの施設で採用された無資格、未経験者へのヒアリング・アンケート調査を実施。

対象は介護職（間接介護含む）、入職5年までとする（該当人数は各施設5～15名程度）

11月に調査を実施し、12月に第5回会議を開催し、調査結果の共有をする。また、お互いの状況を把握することを目的として、人材センター・人材バンクとの情報共有を行う。

→ プロジェクト会議内での勉強会について

福祉業界の情報だけでは、新しい打ち出し方をしていくのは難しいのではないか。

一般企業のような戦略的な広報の仕方などを得られる機会を作ってはどうか。

勉強会を2～3回、オンライン形式で実施し、録画もした上で委員全員が内容を確認できるようにしてはどうか。

講師の案として、損保ケア、ツクイ、リクルート（カドノさん：県社協福祉の魅力発信プロジェクトに携わっていた方）、NEC（川崎市社協）などが想定される。

3 介護報酬改定対応プロジェクト会議

(1) メンバー

清水施設長（夢見ヶ崎）、白井施設長（富士見プラザ）

(2) 会議等 ※研修会報告

日時： 9月 7日（月）午後1時30分～

会場：ホテル横浜キャメロットジャパン5階 ジュビリー I

内容：「神奈川県特養実態と介護報酬改定の動向－介護報酬改定対応プロジェクト会議の報告」

①介護報酬改定対応プロジェクト会議報告

社会福祉法人東の会 理事長 今井徹 氏（介護報酬改定対応プロジェクト会議委員長）
神奈川県内の横浜市、川崎市、相模原市の政令3市と地域の4団体が実施した「特別養護老人ホーム実態調査」の結果をもとに、神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会に介護報酬改定対応プロジェクト会議を設置し、検討を重ね共通の課題等に関する項目を中心にまとめた。

②神奈川県特養実態と介護報酬改定の動向

株式会社川原経営総合センター 水田智博 氏

（神奈川県）

- ・ 県内特養の内、32.25%（89施設／276施設）、従来型に限るとは42.76%（62施設／145施設）が赤字経営になっている。
- ・ 地域密着型特養や定員50名未満の小規模特養の経営の厳しさが顕著
- ・ 職員配置が手厚い施設（1.7～2.0）の方が利用率、収支差額率が高い。
また、職員配置が手厚くても、収支差額率や労働分配率を意識しながら可能な限り職員へ還元している施設が多い。
- ・ 栄養や口腔ケアに係る各種加算を取得している施設の方が概ね本入所の利用率、収支差額率が高い傾向を示した。
- ・ 「排せつ支援加算」や「褥瘡マネジメント加算」は要件を満たすのが難しく、事務負担が大きいため、加算を取得している施設は少ない。
介護・看護配置基準が手厚い施設（1.7～2.0）の方が特養機能「重度化対応」「看取り・医療対応強化」を強化する主な加算の取得割合が相対的に高い。
- ・ 「施設の体制や職員配置等が理由で、受け入れられない」状況が深刻化しており、職員不足により、社会資源が十分に活用できていない。
- ・ 待機者の多くは従来型を希望していることがうかがえる。低所得者層が費用負担の高さなどを理由に、ユニット型への申込控えが表れている。

- ・基本給だけでおおむね 17 万円以上と高く、国調査に比べても基本給は 2 万円以上高い水準（人件費率を圧迫し、経営状況を厳しくしている要因）
- ・平均収支差額率は 0.46%、従来型 0.92%、ユニット型 2.47%、混合型 -2.63%
- ・市内特養の約 35%（14 施設／39 施設）が収支差額率 0 %を下回る赤字状態で、従来型は 4 割に上る
- ・平均利用率は 92.07%、本入所のみ 92.27%、短期入所のみ 82.06%と低稼働率状態
- ・川崎区、幸区、中原区と多摩区、麻生区で待機者数が二極化傾向
- ・ユニット型、混合型では「待機者がいない」が約 2 割を占める
- ・「看取り（死亡）※施設内」は 4～5 割と低水準

（次期介護報酬改定や特養の社会的役割の方向性へのポイント）

- ・介護ロボットや ICT 導入の流れの加速（加算評価の拡充）
人員配置の削減 < 業務負担の軽減、業務効率化
- ・感染症対策の観点からも従来型多床室の「ユニット型個室的多床室」や「従来型個室」への重点化（低所得者層の終の棲家の確保：サ高住における貧困ビジネス化）
- ・ショートステイの特養転換による需要と供給バランスの調整
介護保険サービスの充実に伴う、社会的役割のピポット
- ・「重度化対応」や「看取り、医療対応強化」に向けた特養機能強化とゆるやかな医療、福祉連携の推進
- ・事業継続計画の策定と地域防災の強化に向けた働きかけ
- ・新型コロナウイルス対策は「予防対応」から「発生時対応」へシフト

※介護給付費分科会（厚生労働省）のオンライン配信が始まっており、資料も公開されているので、今後の国の動向を確認することができる。

第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第19回かながわ高齢者福祉研究大会合同大会
合同会議委員名簿

◎印は実行委員長 ○印は副実行委員長 ☆印は協議会会長 ★印は協議会副会長 ◆印は県老協委員と大会実行委員兼任

総括	所 属 / 氏 名	所 属 / 氏 名	備考	
県老協協 正副会長 5	陽光の園	★加藤 馨	県老協 委員 12	
	天王森の郷	☆鈴木 啓正		
	弥生苑	★西山 宏二郎		
	すみよし	★磯野 利男		
	東林園シニアクラブ	★阿部 匡秀		
合同大会 正副委員長 5	藤沢養護老人ホーム	◆○川瀬 和一	相模原	
	たきがしら芭蕉苑	◆○前田 卓哉		
	湖見台みどりの丘	◆◎藤田 茂樹		
	富士見プラザ	○白井 裕一		
	芙蓉の園	○坂本 陽二郎		
顧問相談役	上郷苑	篠原 正治		
		二宮寿考園	里山 樹	県域
		ヒューマン	森 弘樹	
		はまゆう	井上 政江	横浜
		第2新横浜パークサイドホーム	牧野 裕子	
		本牧ホーム	水越 洋二	川崎
		金井原苑	◆依田 明子	
		夢見ヶ崎	清水 完敏	相模原
		片平長寿の里	◆牧田 正之	
		ケアプラザさがみはら	大塚 小百合	
		葉胡苑	及川 悦子	
		銀の館	小樽山 仁	
		はなさか	◆萩原 正晃	

	主 な 内 容	副実行委員長	所 属 / 氏 名	備考	
実行委員長			湖見台みどりの丘	◆◎藤田 茂樹 川崎	
研究発表 16	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表全般の企画立案 募集要綱の検討 事前研修会の検討 会場レイアウト機材の検討 優秀賞表彰式の企画立案 	◆○川瀬 和一	ケアホーム三浦	青野 真也	県域
			湘南老人ホーム	神谷 勝	
			藤沢養護老人ホーム	◆○川瀬 和一	横浜
			よつば苑	碓井 義彦	
			泉の郷	紺野 智秋	
			愛成苑	平本 千恵子	
			やまゆりホーム	晝間 靖裕	
			サンパレー	和田 裕美	
			しらゆり園	齋藤 昇	川崎
			恒春園	竹本 健寛	
			しおん	古寺 勲	相模原
			こむかい	己斐 聡美	
			古淵デイサービスセンター	小磯 敬子	相模原
			◆はなさか	萩原 正晃	
			居宅サービスセンター モモ	諸林 賢	
			相陽台ホーム	常盤 拓司	
神奈川県高齢者福祉施設協議会	宮口 恵美子	事務局			
介護技術 発表 14	<ul style="list-style-type: none"> 介護技術発表の企画立案 募集要綱の検討 評価項目の検討・評価者調整 大会当日の評価者・モデル対応 優秀賞表彰式の企画立案 	◆○前田 卓哉	恵徳苑	五十嵐 直子	県域
			第二座間苑	近藤 千尋	
			ローズヒルケアセンター	石井 浩	横浜
			たきがしら芭蕉苑	◆○前田 卓哉	
			ピア市ヶ尾	内野 恵章	川崎
			ニューバード	大和田 竜太	
			港北みどり園	家鍋 雄一郎	相模原
			◆金井原苑	依田 明子	
			◆片平長寿の里	牧田 正之	
			すえなが	平本 正志	
特別養護老人ホーム モモ	大原 伸介	相模原			
マナーハウス横山台	竹内 史郎				
みたけ	松坂 健志				
横浜市社会福祉協議会	長谷川 篤史	事務局			
施設紹介 協賛出展 7	<ul style="list-style-type: none"> 施設紹介コーナーの企画立案 応募施設の募集 参加施設の調整 介護福祉士養成校との調整 協賛企業の募集 会場内のレイアウト調整 	○白井 裕一	和喜園	石井 康愛	県域
			汐見台パシフィックステージ	島 千代子	横浜
			相生荘	相澤 史人	
			けいあいの郷影取	石川 朝彦	川崎
			富士見プラザ	○白井 裕一	
			東橋本ひまわりホーム	山口 忠夫	相模原
			聖ヶ丘教育福祉専門学校	小林 根	介護協
川崎市社会福祉協議会	金子 泰彰	事務局			
大会運営 7	<ul style="list-style-type: none"> 大会テーマ(副題)企画 大会への周知方法検討(ポスター、開催要綱作成) 前当日の参加受付対応(参加者、発表者) 当日係員の調整 当日の記録 	○坂本 陽二郎	玉川グリーンホーム	原田 忠洋	県域
			レストフルヴィレッジ	神内 擴行	横浜
			菅田心愛の里	伊藤 俊吾	
			松みどりホーム	小倉 徹	川崎
			しゃんぐりら	伊藤 規子	
			新緑の郷	小林 秀夫	相模原
芙蓉の園	○坂本 陽二郎				
相模原市社会福祉協議会	加藤 健司	事務局			

第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第19回かながわ高齢者福祉研究大会【合同大会日程表】

○第1日目 6月30日 第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会									
11:00	12:30	13:00	13:50	14:00	14:50	15:00	16:30	17:00	
受付	オープニング セレモニー	開会式	休憩	基調報告 (50分) 講師 (予定) : 全国老人福祉施設協議会 常任理事・業務執行理事 参議院厚生常任委員長 園田 修光氏	休憩	記念講演 (90分) 講師 (調整中)	次回開催県紹介		
物産展 (6月30日) 協賛企業出展コーナー (6月30日～7月1日)									
○第2日目 7月1日 第56回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第19回かながわ高齢者福祉研究大会									
8:30	9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	16:00	16:45		
受付		研究発表 (分科会/開ブロ)	昼食/休憩	研究発表 (分科会/かながわ)					
研究発表 (分科会/かながわ)		介護技術発表 (かながわ)		昼食/休憩		介護技術発表 (かながわ)			
ブロック別施設紹介コーナー (かながわ)									
協賛企業出展コーナー (6月30日～7月1日)									

<協議事項>

※合同大会は関係者が一堂に会して実践活動を学び合う機会とするため、来場者の安心安全な環境をつくることを優先し、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図る。

(全体的な確認事項)

- 1 県外300名(600名)、県内700名(800名)、計1,000名の参加者(来場者)を見込む(2日間の参加で12,000円)。
- 2 ポスター・開催要項は業者契約の継続に伴い、大幅な修正はできない(キャンセル料0円で調整済)。
- 3 当日資料は関ブロ抄録・かながわ抄録の合本とする(抄録はホームページからもダウンロード可能、QRコードを用意)。
- 4 協賛企業出展コーナーはブース間隔等の再考を要するが、2日間出展で45スペース(18回39スペース)を目標に募集を検討。
- 5 宿泊施設の客室確保数の検討(3密回避のためシングルのみ300名で検討)。

(6月30日の確認事項)

- 1 全体会1階メインホールに500名(定員1,000名)、中継会場3階301～304に500名(シスター定員1,300名)を想定。
- 2 全体会簡素化の検討(オープニングセレモニー・開会式・感謝状贈呈等は必要最小限の人数での実施に向けて検討)。
- 3 関ブロ代表者会議・関ブロ代表者交流会(50名)の簡素化の検討(参加人数・時間短縮等の検討)。
- 4 参加者昼食の検討(7月1日はプログラム上必要だが、3密の時間を少しでも減らすため、希望をとらない方向で検討)。
- 5 物産展はパシフィコ横浜に依頼を継続。

(7月1日の確認事項)

- 1 研究発表
 - (1) WE B 参加導入の検討(配信方法と必要経費、係員、準備期間とトラブル対応の検討)。
 - (2) 午前(関ブロ)は7発表×7会場=49発表で変更はないか。全国大会推薦選考会(12:15~12:45)も予定どおりとしてよいか。
 - (3) 午後(かながわ)は12発表×7会場=84発表で変更はないか。奨励賞表彰式(16:35~16:45)も予定どおりとしてよいか。
 - (4) 午後(かながわ)発表者継続依頼の検討(継続依頼文書、継続要件の確認、参加辞退の場合の発表者補充方法)
- 2 介護技術発表
 - (1) <午前>移動・移乗6発表、<午後>津久井高校発表、自由発表5発表を1会場で実施。
 - (2) 3密を回避するため会場変更を要する。
 - (3) ライブヒーリングの再考
- 3 ブロック別施設紹介コーナー
 - (1) 県域、横浜、川崎・相模原3会場でパネル等ブース設置。1会場を使用してカフェコーナーと人材C・人材B・HW、ロボキヤラブース設置。
 - (2) 60~80法人出展予定。出展料+広告料をセットで募集。
 - (3) カフェコーナー設置による効果的なブロック会場の運用方法の検討



「ShareSmile かわさき」の進捗状況について

Share Smile かわさき 心のキヨリは離れない～今できること～

川崎市社会福祉協議会では、地域の皆さまや関係機関・団体から寄せられた新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとや支援をしたいという声をつなぐため、これまで培ってきた経験を活かしながら、市民をはじめ関係機関・団体、行政等とより一層一丸となって、ともにこの困難を乗り越えていく仕組みとして「Share Smile かわさき 心のキヨリは離れない～今できること～」を掲げ、コロナ禍においても、地域で繋がり、支え合うため、以下の取組みを始めました。

また、「Share Smile かわさき 心のキヨリは離れない～今できること～」を多くの方に広め、協力を得るため、オリジナルステッカーの配布や缶バッジ購入による寄付、特設サイト等にも取組んでいます。

取組み① とどけよう！かわさきマスク【とどけマス】

家庭にある使う予定のないマスクを募集し、いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により今必要としている福祉施設等へお渡しします。

回収枚数 39,324枚(10/14現在)

配布枚数 32,791枚(10/14現在) → 152施設に配布

【内訳】

保育園 119 児童養護施設・乳児院 15

障害者施設 9 高齢者施設 8 児童相談所 1

(1) マスク回収ポスト設置先

市社協、区社協、市内一部郵便局（川崎区、幸区、高津区）、
みらい川崎市議会議員団 等

(2) 協力企業、関係機関・団体

川崎労働福祉協議会、株式会社デイ・シイ、東京海上日動ファシリティーズ株式会社、有馬センター薬局、コスモス薬局、
野川南台保育園、木月ほほえみ保育園、こぶし園 等

※9月末に回収終了となりましたが、問合せや窓口に来た場合には引続き受取らせていただき、必要な施設や機関・団体等へお渡しいたします。

取組み② 食糧支援かわさき(SOSかわさき事業)【食かわ】

市内の社会福祉法人と連携し、社会福祉施設や企業、地域の方から食糧の寄付を募り、相談機関を通じて、新型コロナウイルスの影響により収入減少や失業等により、生活に困っている方々へお渡しします。

提供品 3,135品(10/14現在)

(お米、缶詰、乾麺、レトルト食品、ベビーフード、飲料 等)

支援実績 約250世帯(10/14現在)

(1) 提供元

地域住民、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、市内社会福祉法人、市内社会福祉施設、市内企業、フードバンクかながわ、神奈川県共同募金会、市社協（備蓄品）等

(2) 拠点施設 (10/14 現在)

川崎区－南部身体障害者福祉会館

幸区－幸区社会福祉協議会

中原区－障害福祉施設ひらま

高津区－高齢者福祉施設すえなが

宮前区－川崎愛児園

多摩区－龍巖寺保育園、特別養護老人ホーム菅の里

麻生区－特別養護老人ホーム金井原苑、すぎのこ保育園

(3) 支援実績

市社協、区社協、区役所、児童相談所、児童家庭支援センター、国際交流協会、川崎市母子寡婦福祉協議会、

だいJOBセンター（川崎市生活自立・仕事相談センター）等

※10月末に終了予定でしたが、生活福祉資金（緊急小口資金等）特例貸付受付期間の延長も決定し、生活に困っている世帯や見守りが必要な世帯が増えていることから3月末まで継続を検討しています。

取組み③ オリジナル缶バッジ購入による寄付

マスクや食糧を提供したりすることは出来ないが、今回の取組みに賛同し、資金面で協力していただくことを目的に、オリジナル缶バッジ購入による寄付（1個100円以上）を行います。

寄付金 797個 99,030円(10/14現在)

※残203個がなくなり次第終了とし、頂戴した寄付金で社会福祉施設へプラスチック手袋等を購入し、お渡しします。

その他(広報等)

市・区社協ホームページや広報紙、ふくみみ、特設サイト、タウンニュース（10回）、東京新聞 TODAY（2回）、神奈川新聞（1回）、地域包括ケアシステムポータルサイト、月刊福祉（※1月号掲載予定）

#Share Smile かわさき

～心のキヨリは離れない 今できること～

わたしたち川崎市社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活にお困りの方や、感染リスクにさらされながらも懸命に働く福祉関係者に対して、様々な支援をおこなっています。



新型コロナウイルス感染症の影響で、収入減少や失業など生活に困りごとを抱える人が急増しています。

しかし、緊急事態宣言の発令や3密(密閉・密集・密接)を避ける「新しい生活様式」の推奨により、これまでの様な支え合いの活動を行うのが難しくなりました。

それでも、地域で繋がり、支え合う関係性が築けるよう、多様で新しい支援の仕組みづくりを早急に進めなければなりません。その中で生まれたのが、この「#Share Smile かわさき」の取組みです。

自分にも何かできることはないか

誰かの力になれないか

そんな温かい声と共に、市民の皆さまからたくさんのご協力をいただいていることを、心よりお礼申し上げます。

ShareSmileかわさき

つながり、つなげ、支え合う。

この支援の輪と笑顔が広がりますように。

日々、地域を見つめるわたしたちの願いを込めた言葉です。

取組にご賛同される方はぜひ「#ShareSmileかわさき」とハッシュタグを付けて、SNSでシェアしてください。みんなで支援の輪を広げましょう。



寄付いただいた方には、オリジナルステッカーを配布しています



ツイッターはこちら (@ShareSmile-kwsk)

特設サイトで
発信中!

福祉施設・団体からのメッセージなどを掲載しています



取組① 食糧支援かわさき (地域生活支援SOSかわさき事業)

市内の社会福祉法人と連携し、さまざまな福祉施設や企業、地域の方から食糧の寄付を募っています。集まった食糧は相談機関を通じて、収入減少等で生活に困っている方にお渡ししています。



困っている人に届きますように



市内企業やフードバンクかながわをはじめ、個人の皆様からもたくさんの食糧をご寄付いただきました

コロナ禍でできる地域支援はないかと考えていた時にこの取組を知りました。喜んで協力させていただきます



食糧保管拠点として多くの福祉施設が協力しています



本当に助かります！たくさん食糧をいただけたので、何とかしばらく生活することができそうです。

食糧を受け取った方の声

集まった食糧 2,574品
配布した食数 約150世帯分
ありがとうございました！
(8月末日現在)

取組② とどけようかわさきマスク

ご家庭や事業所で使う予定のないマスクを回収し、市内の老人ホーム・障害者支援施設・保育園など、今必要としている福祉施設へ届けました。
(9月末で取組終了)



市内8カ所の社協の他、一部郵便局にマスク回収ポストの設置協力をいただきました。多くの市民の皆様や団体様からのご提供に感謝いたします



マスクを受け取った福祉施設からたくさんのメッセージが寄せられています。保育園の子ども達からのありがとうも♪



集まったマスクを仕分けして福祉施設へお届け



集まったマスク 11,781枚
届けた施設 113カ所
ありがとうございました！
(8月末日現在)

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
特別養護老人ホーム平成31年度決算に基づく経常増減差額比率（収支差額率）の調査結果

調査期間：令和2年7月28日～8月31日

都県市名	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都 ※都経営支援補助金除く/含む	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体
調査対象施設数（A）	219	136	174	308	264	497	144	187	78	79	214	144	57	42	48	56	2647
回収施設数（B）	150	76	98	150	145	300	99	144	72	46	166	85	40	26	40	36	1673
回収率（B/A）	68.49%	55.88%	56.32%	48.70%	54.92%	60.36% / 0.00%	68.75%	77.01%	92.31%	58.23%	77.57%	59.03%	70.18%	61.90%	83.33%	64.29%	63.20%
平均経常増減差額率	2.09%	0.07%	1.97%	3.00%	2.24%	-0.73% / 1.17%	0.59%	1.80%	2.34%	2.25%	1.53%	4.18%	0.19%	-0.19%	2.73%	3.21%	1.55%

【参考】前年度結果 (平成30年度決算)	2619
1744	
66.59%	
1.46%	

	施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率		施設数		差額率	
	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率		
級地別	1級地									151	-1.35%	0.56%																				151	-1.35%			
	2級地									12	0.53%	2.24%																			136	2.71%				
	3級地							16	4.93%	13	6.23%	64	0.02%	1.20%	4	-1.39%													39	2.73%	34	3.21%	170	2.18%		
	4級地	5	11.62%					2	5.74%	16	0.52%	23	-0.19%	2.25%	19	0.58%																	87	0.92%		
	5級地	32	1.27%					5	1.46%	34	2.38%	18	0.54%	1.75%	52	2.08%																	141	1.75%		
	6級地	17	1.33%	22	1.11%	14	0.84%	85	2.44%	28	0.88%	10	2.42%	3.73%	11	-3.48%																	203	1.54%		
	7級地	39	2.33%	30	-1.83%	38	0.77%	23	2.48%	22	2.29%	5	1.26%	3.43%	1	-5.31%	33	5.19%	19	0.58%	18	-0.99%	111	1.30%									339	1.42%		
	その他	54	1.76%	21	1.69%	43	3.37%	10	6.08%	26	2.52%	3	-8.97%	2.60%	7	-2.11%	111	0.73%	53	2.97%	26	4.50%	32	1.99%									386	2.02%		
タイプ別	従来型	47	0.66%	29	-0.62%	35	0.29%	64	1.41%	66	0.98%	188	-1.11%	0.98%	47	-1.39%	71	2.11%	28	0.04%	25	2.43%	73	1.79%	46	1.99%	21	-0.72%	13	-3.03%	16	2.99%	16	4.23%	785	0.51%
	ユニット型	60	2.96%	18	2.11%	27	5.20%	52	4.90%	38	3.61%	74	-0.25%	1.43%	36	2.64%	33	3.00%	18	2.67%	11	2.02%	52	2.04%	34	7.65%	2	9.81%	9	3.92%	15	2.14%	17	3.35%	496	3.03%
	地域密着型	5	2.53%	5	0.66%	2	2.34%	4	-3.60%	2	5.00%	3	4.68%	4.68%	1	12.50%	9	-0.08%	11	6.21%	1	-2.89%	6	-13.09%	1	-0.74%	3	-8.50%		2	3.26%	1	-15.53%	56	-0.11%	
	従来型+ユニット型	19	1.40%			10	-0.65%	16	4.26%	21	2.50%	13	2.89%	3.77%	9	1.32%	6	1.69%	1	-1.11%	3	6.14%	19	2.44%	1	1.91%	9	2.31%		6	3.35%			133	2.31%	
	従来型+地域密着型	7	6.01%	8	-3.67%	13	0.42%	2	4.48%	5	6.71%	2	-8.36%	0.63%			8	2.94%	2	10.41%	2	5.73%	2	0.90%	1	-2.41%								52	1.91%	
	ユニット型+地域密着型	5	4.82%	12	0.40%	5	4.56%	2	6.94%	5	-2.70%	4	0.12%	0.53%			15	-2.06%	12	2.60%	2	-5.36%	3	-4.00%	2	2.55%	3	0.84%						70	0.54%	
	従来型+ユニット型+地域密着型	4	-1.59%	1	6.50%	3	-5.43%	1	0.90%	2	13.02%	2	-1.26%	-0.36%	1	0.71%	2	4.42%															21	1.74%		

施設数	差額率
104	-2.68%
158	3.15%
165	2.70%
100	1.55%
160	2.52%
215	2.01%
358	0.77%
407	1.44%

※大規模修繕による大幅な減額等、異常値・外れ値は除いた集計となるため、回答施設数と集計データ数に差異が生じている。

【派遣職員について】

都県市名	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		東京都		神奈川県		新潟県		山梨県		長野県		静岡県		横浜市		川崎市		相模原市		千葉市		さいたま市		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合												
平成30年度に派遣実績がある	74	49.33%	45	60.81%	45	47.37%	100	68.49%	69	49.29%	207	73.40%	69	71.88%	68	48.61%	43	59.72%	26	59.09%	107	64.85%	62	76.54%	36	97.30%	16	72.73%	24	68.57%	27	77.47%	918	62.32%
平成30年度に派遣実績がない	76	50.67%	29	39.19%	50	52.63%	46	31.51%	71	50.71%	75	26.60%	27	28.12%	75	51.39%	29	40.28%	18	40.91%	58	35.15%	19	23.46%	1	2.70%	8	36.36%	11	31.43%	8	22.53%	555	37.68%

【1施設あたり平均人数】

	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		東京都		神奈川県		新潟県		山梨県		長野県		静岡県		横浜市		川崎市		相模原市		千葉市		さいたま市		全体平均 *1	
	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数	施設数	平均人数		
介護職員	期間別	1か月以下	0.49人	0.89人	0.69人	1.12人	0.67人	0.86人	1.28人	0.32人	0.79人	0.58人	0.52人	0.83人	1.03人	1.13人	0.96人	1.85人	0.88人															
		1か月を超え6か月以下	1.39人	2.11人	2.16人	3.18人	2.78人	2.22人	4.32人	1.31人	1.79人	1.54人	1.88人	2.59人	4.11人	4.00人	3.42人	3.08人	2.62人															
		6か月以上	1.77人	1.67人	1.84人	2.38人	2.86人	1.98人	3.52人	1.51人	1.98人	1.62人	2.21人	2.95人	4.00人	3.13人	2.75人	3.58人	2.48人															
		合計	3.65人	4.67人	4.69人	6.68人	6.30人	5.06人	9.12人	3.15人	4.56人	3.73人	4.61人	6.37人	9.14人	8.25人	7.13人	8.50人	5.98人															
看護職員	期間別	1か月以下	0.04人	0.09人	0.13人	0.48人	0.23人	0.25人	0.17人	0.04人	0.26人	0.04人	0.04人	1.17人	1.00人	0.06人	0.83人	0.62人	0.34人															
		1か月を超え6か月以下	0.28人	0.36人	0.27人	1.35人	0.80人	0.78人	1.00人	0.18人	0.47人	0.27人	0.32人	0.96人	1.39人	0.81人	0.75人	1.77人	0.74人															
		6か月以上	0.15人	0.36人	0.13人	0.73人	0.48人	0.33人	0.42人	0.16人	0.44人	1.23人	0.59人	0.42人	0.67人	0.88人	0.54人	0.88人	0.53人															
		合計	0.47人	0.80人	0.53人	2.56人	1.51人	1.36人	1.59人	0.38人	1.16人	1.54人	0.94人	2.55人	3.06人	1.75人	2.13人	3.27人	1.60人															
その他職員	期間別	1か月以下	0.04人	0.00人	0.02人	0.02人	0.03人	0.01人	0.03人	0.01人	0.09人	0.04人	0.00人	0.05人	0.14人	0.06人	0.04人	0.04人	0.04人															
		1か月を超え6か月以下	0.12人	0.09人	0.16人	0.10人	0.16人	0.09人	0.12人	0.06人	0.16人	0.04人	0.13人	0.01人	0.00人	0.21人	0.12人	0.10人																
		6か月以上	0.24人	0.15人	0.38人	0.26人	0.26人	0.17人	0.12人	0.99人	0.40人	0.65人	0.44人	0.16人	0.33人	0.25人	0.04人	0.23人	0.32人															
		合計	0.41人	0.24人	0.56人	0.38人	0.45人	0.27人	0.26人	1.06人	0.65人	0.73人	0.57人	0.22人	0.47人	0.31人	0.29人	0.38人	0.45人															
合計	期間別	1か月以下	0.57人	0.98人	0.84人	1.62人	0.93人	1.12人	1.48人	0.38人	1.14人	0.65人	0.56人	2.05人	2.17人	1.25人	1.83人	2.50人	1.25人															
		1か月を超え6か月以下	1.80人	2.56人	2.58人	4.63人	3.74人	3.09人	5.43人	1.54人	2.42人	1.85人	2.33人	3.56人	4.81人	4.38人	4.96人	3.45人																
		6か月以上	2.16人	2.18人	2.36人	3.37人	3.59人	2.48人	4.06人	2.66人	2.81人	3.50人	3.23人	3.53人	5.00人	4.25人	3.33人	4.69人	3.33人															
		合計	4.53人	5.71人	5.78人	9.62人	8.26人	6.69人	10.97人	4.59人	6.37人	6.00人	6.12人	9.14人	12.67人	10.31人	9.54人	12.15人	8.03人															

【平均金額】

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体平均
1施設あたり	5,644,435円	7,300,710円	6,203,577円	14,350,867円	13,971,657円	18,960,785円	18,713,692円	4,866,313円	7,998,812円	7,460,946円	9,850,351円	22,522,546円	24,323,423円	17,847,862円	14,038,943円	18,963,334円	13,313,641円
派遣職員1人あたり	1,246,830円	1,278,334円	1,073,696円	1,491,774円	1,691,306円	2,144,744円	1,705,739円	1,060,607円	1,255,288円	1,243,491円	1,609,141円	1,861,620円	1,920,270円	1,730,702円	1,471,330円	1,560,274円	1,521,572円

【参考】前年度結果 (平成30年度決算)	12,414,135円
1,448,683円	

*1=(各都県市の人数×各都県市の派遣実績がある施設数)/各都県市の派遣実績がある施設数
 *2=(各都県市の1施設あたりの金額×各都県市の派遣実績がある施設数)/各都県市の派遣実績がある施設数
 *3=(各都県市の派遣職員1人あたりの金額×各都県市の派遣職員合計人数×各都県市の派遣実績がある施設数)/(各都県市の派遣実績がある施設数×

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
新型コロナウイルス感染症による収支への影響調査結果

【特別養護老人ホームへの影響】

都県市名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体
調査対象施設数（有効回答数）		129	68	95	142	135	276	86	133	68	42	151	79	37	20	32	31	1524
経常増減差額	平成31年4～6月	1,386,213 円	1,884,309 円	957,527 円	7,168,575 円	5,303,394 円	8,537,581 円	5,296,673 円	3,151,929 円	2,731,098 円	1,918,993 円	6,787,278 円	11,389,349 円	1,009,326 円	1,874,576 円	4,174,449 円	8,689,786 円	5,270,118 円
	令和2年4～6月	1,222,265 円	2,398,926 円	1,737,920 円	7,739,837 円	4,904,675 円	8,291,950 円	5,960,080 円	3,486,147 円	2,413,089 円	1,319,952 円	6,778,483 円	11,627,921 円	2,959,264 円	2,339,269 円	4,432,212 円	10,973,798 円	5,453,985 円
	差額	-163,948 円	514,617 円	780,393 円	571,262 円	-398,719 円	-245,631 円	663,407 円	334,218 円	-318,009 円	-599,041 円	-8,795 円	238,572 円	1,949,938 円	464,693 円	257,763 円	2,284,012 円	183,867 円
サービス活動収益	平成31年4～6月	75,724,682 円	64,360,165 円	69,131,743 円	95,354,981 円	82,306,430 円	113,474,629 円	90,498,031 円	84,819,634 円	52,998,897 円	74,458,902 円	78,899,758 円	118,598,642 円	87,336,338 円	89,772,199 円	79,024,254 円	102,849,739 円	88,258,181 円
	令和2年4～6月	72,917,891 円	65,922,958 円	72,048,764 円	92,225,962 円	82,726,356 円	107,498,490 円	92,994,288 円	79,550,083 円	54,764,005 円	71,217,237 円	80,124,720 円	119,980,136 円	90,336,542 円	91,219,945 円	81,108,952 円	107,545,535 円	87,030,045 円
	差額	-2,806,791 円	1,562,793 円	2,917,021 円	-3,129,019 円	419,926 円	-5,976,139 円	2,496,257 円	-5,269,551 円	1,765,108 円	-3,241,665 円	1,224,962 円	1,381,494 円	3,000,204 円	1,447,746 円	2,084,698 円	4,695,796 円	-1,228,136 円

【デイサービス（一般型）への影響】

都県市名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体
調査対象施設数（有効回答数）		90	42	61	81	86	146	60	87	29	27	121	26	25	13	17	15	926
経常増減差額	平成31年4～6月	2,567,918 円	1,998,608 円	975,480 円	2,366,202 円	1,690,269 円	1,818,775 円	2,872,875 円	707,419 円	1,546,290 円	1,279,009 円	1,892,637 円	2,479,671 円	2,581,190 円	1,951,977 円	1,453,400 円	913,907 円	1,849,051 円
	令和2年4～6月	1,530,422 円	1,756,935 円	-63,966 円	173,972 円	-39,063 円	-1,932,648 円	1,808,588 円	338,706 円	1,143,093 円	645,392 円	1,346,037 円	1,002,046 円	783,401 円	809,806 円	-1,792,513 円	222,378 円	341,955 円
	差額	-1,037,496 円	-241,673 円	-1,039,446 円	-2,192,230 円	-1,729,332 円	-3,751,423 円	-1,064,287 円	-368,713 円	-403,197 円	-633,617 円	-546,600 円	-1,477,625 円	-1,797,789 円	-1,142,171 円	-3,245,913 円	-691,529 円	-1,507,096 円
サービス活動収益	平成31年4～6月	16,550,302 円	17,346,329 円	15,225,970 円	18,589,857 円	15,824,697 円	23,469,780 円	22,817,322 円	18,456,895 円	16,155,846 円	13,776,568 円	19,328,740 円	21,166,897 円	16,470,596 円	14,417,960 円	14,949,003 円	16,861,721 円	18,629,371 円
	令和2年4～6月	13,838,275 円	13,810,974 円	13,402,228 円	15,422,592 円	13,019,538 円	17,254,750 円	18,783,764 円	18,249,864 円	15,739,509 円	13,181,910 円	16,470,998 円	17,497,239 円	14,526,867 円	12,206,173 円	12,740,509 円	16,011,809 円	15,642,336 円
	差額	-2,712,027 円	-3,535,355 円	-1,823,742 円	-3,167,265 円	-2,805,159 円	-6,215,030 円	-4,033,558 円	-207,031 円	-416,337 円	-594,658 円	-2,857,742 円	-3,669,658 円	-1,943,729 円	-2,211,787 円	-2,208,494 円	-849,912 円	-2,987,035 円

【デイサービス（認知症対応型）への影響】

都県市名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体
調査対象施設数（有効回答数）		4			3	7	84	5	6			23	4	3				139
経常増減差額	平成31年4～6月	1,390,447 円			1,388,389 円	293,396 円	1,054,846 円	933,777 円	2,186,685 円			562,835 円	394,272 円	899,710 円				974,088 円
	令和2年4～6月	1,499,139 円			-351,597 円	1,030,158 円	102,453 円	381,247 円	2,271,403 円			446,289 円	-862,207 円	1,020,830 円				332,172 円
	差額	108,692 円	0 円	0 円	-1,739,986 円	736,762 円	-952,393 円	-552,530 円	84,718 円	0 円	0 円	-116,546 円	-1,256,479 円	121,120 円	0 円	0 円	0 円	-641,916 円
サービス活動収益	平成31年4～6月	6,163,127 円			8,245,934 円	10,774,391 円	10,742,836 円	8,380,536 円	6,765,144 円			6,349,898 円	8,894,170 円	8,342,478 円				9,470,177 円
	令和2年4～6月	6,349,812 円			7,238,726 円	11,130,031 円	9,176,412 円	7,784,811 円	6,365,635 円			6,221,444 円	8,933,552 円	8,632,883 円				8,472,577 円
	差額	186,685 円	0 円	0 円	-1,007,208 円	355,640 円	-1,566,424 円	-595,725 円	-399,509 円	0 円	0 円	-128,454 円	39,382 円	290,405 円	0 円	0 円	0 円	-997,600 円

【デイサービス（地域密着型）への影響】

都都市名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体
調査対象施設数（有効回答数）		22	7	16	10	12	15	9	9	7	3	12	10			4	3	139
経常増減差額	平成31年4～6月	1,417,657 円	87,562 円	321,065 円	-154,941 円	-95,514 円	450,031 円	680,485 円	618,689 円	2,415,080 円	-665,430 円	1,022,930 円	1,764,609 円			-352,373 円	-1,045,112 円	668,860 円
	令和2年4～6月	557,953 円	-152,211 円	210,436 円	-633,274 円	-1,290,196 円	-1,290,295 円	-152,284 円	388,648 円	2,226,644 円	-894,620 円	1,000,131 円	885,867 円			-78,878 円	-1,607,585 円	29,920 円
	差額	-859,704 円	-239,773 円	-110,629 円	-478,333 円	-1,194,682 円	-1,740,326 円	-832,769 円	-230,041 円	-188,436 円	-229,190 円	-22,799 円	-878,742 円	0 円	0 円	273,495 円	-562,473 円	-638,940 円
サービス活動収益	平成31年4～6月	8,655,239 円	6,743,677 円	5,378,414 円	8,936,959 円	10,112,640 円	9,667,876 円	6,263,246 円	11,188,863 円	9,827,318 円	6,193,249 円	7,748,934 円	9,479,441 円			7,693,871 円	8,175,915 円	8,395,251 円
	令和2年4～6月	7,947,084 円	6,589,728 円	5,553,743 円	6,599,404 円	6,652,327 円	7,896,503 円	5,633,062 円	11,294,992 円	9,643,999 円	5,628,801 円	5,882,336 円	8,717,591 円			8,704,543 円	7,507,252 円	7,380,893 円
	差額	-708,155 円	-153,949 円	175,329 円	-2,337,555 円	-3,460,313 円	-1,771,373 円	-630,184 円	106,129 円	-183,319 円	-564,448 円	-1,866,598 円	-761,850 円	0 円	0 円	1,010,672 円	-668,663 円	-1,014,358 円

【ショートステイへの影響】

都都市名		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	さいたま市	全体
調査対象施設数（有効回答数）		95	65	66	96	107	208	82	124	41	33	137	71	31	19	28	17	1220
経常増減差額	平成31年4～6月	3,798,545 円	1,061,455 円	1,236,453 円	3,476,709 円	2,520,884 円	1,973,252 円	2,308,908 円	429,011 円	2,331,257 円	1,240,487 円	1,582,073 円	2,954,450 円	3,446,493 円	2,781,402 円	3,974,031 円	2,276,082 円	2,164,432 円
	令和2年4～6月	3,380,859 円	1,033,745 円	543,213 円	1,955,328 円	1,612,612 円	74,235 円	1,196,979 円	262,124 円	1,856,511 円	779,133 円	1,339,601 円	1,144,814 円	2,846,880 円	2,189,527 円	3,306,564 円	1,683,643 円	1,269,082 円
	差額	-417,686 円	-27,710 円	-693,240 円	-1,521,381 円	-908,272 円	-1,899,017 円	-1,111,929 円	-166,887 円	-474,746 円	-461,354 円	-242,472 円	-1,809,636 円	-599,613 円	-591,875 円	-667,467 円	-592,439 円	-895,350 円
サービス活動収益	平成31年4～6月	12,188,790 円	6,745,621 円	9,220,403 円	13,568,725 円	12,716,521 円	13,587,463 円	15,643,481 円	11,711,891 円	11,616,778 円	10,588,992 円	14,693,586 円	14,298,156 円	9,983,142 円	13,456,522 円	17,186,150 円	14,812,062 円	12,771,744 円
	令和2年4～6月	11,390,756 円	6,713,080 円	8,893,243 円	11,890,831 円	11,791,716 円	9,761,884 円	12,746,026 円	11,253,162 円	11,519,887 円	8,798,971 円	13,079,510 円	11,770,735 円	9,454,456 円	12,161,568 円	17,340,379 円	12,752,554 円	11,144,652 円
	差額	-798,034 円	-32,541 円	-327,160 円	-1,677,894 円	-924,805 円	-3,825,579 円	-2,897,455 円	-458,729 円	-96,891 円	-1,790,021 円	-1,614,076 円	-2,527,421 円	-528,686 円	-1,294,954 円	154,229 円	-2,059,508 円	-1,627,092 円

【夏季賞与への影響】

	回答数	割合																																
大幅に減少した	14	9.6%	2	2.6%	4	4.1%	10	6.7%	7	4.9%	42	14.0%	4	4.1%	11	7.7%	1	1.4%	1	2.2%	13	7.9%	6	7.1%	4	10.0%	3	11.5%	1	2.6%	1	2.9%	124	7.5%
やや減少した	31	21.2%	11	14.5%	23	23.5%	30	20.1%	45	31.3%	59	19.7%	25	25.5%	15	10.6%	5	7.0%	14	30.4%	33	20.0%	21	24.7%	17	42.5%	2	7.7%	9	23.7%	5	14.3%	345	20.8%
例年通り	89	61.0%	51	67.1%	57	58.2%	92	61.7%	71	49.3%	153	51.0%	56	57.1%	98	69.0%	46	64.8%	25	54.3%	101	61.2%	51	60.0%	16	40.0%	17	65.4%	22	57.9%	26	74.3%	971	58.5%
やや増加した	11	7.5%	11	14.5%	13	13.3%	17	11.4%	17	11.8%	44	14.7%	11	11.2%	16	11.3%	17	23.9%	6	13.0%	15	9.1%	7	8.2%	3	7.5%	4	15.4%	5	13.2%	1	2.9%	198	11.9%
大幅に増加した	1	0.7%	1	1.3%	1	1.0%	0	0.0%	4	2.8%	2	0.7%	2	2.0%	2	1.4%	2	2.8%	0	0.0%	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	2	5.7%	21	1.3%
合計	146	100.0%	76	100.0%	98	100.0%	149	100.0%	144	100.0%	300	100.0%	98	100.0%	142	100.0%	71	100.0%	46	100.0%	165	100.0%	85	100.0%	40	100.0%	26	100.0%	38	100.0%	35	100.0%	1659	100.0%

※設問により有効回答数が異なる
 ※施設規模により金額に差が生じるため注意が必要
 ※集計結果には、異常値が含まれて集計されている場合もある。

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
特別養護老人ホーム平成31年度決算に基づく経常増減差額比率（収支差額率）の調査結果

調査期間：令和2年7月28日～8月31日

都県市名	埼玉県	さいたま市	神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉市	東京都 ※都経営支援補助金除く/含む	<首都圏> 全体	【参考】関ブロ集 計結果	<首都圏> 昨年度 調査結果
調査対象施設数（A）	308	56	144	144	57	42	48	497	1296	2647	1274
回収施設数（B）	150	36	99	85	40	26	40	300	776	1673	811
回収率（B/A）	48.70%	64.29%	68.75%	59.03%	70.18%	61.90%	83.33%	60.36% / 0.00%	59.88%	63.20%	63.66%
平均経常増減差額率	3.00%	3.21%	0.59%	4.18%	0.19%	-0.19%	2.73%	-0.73% / 1.17%	1.12%	1.46%	1.49%
									1.86%		2.20%

令和元年度経営概況調査（厚生労働省） ※29年度決算	令和元年度経営概況調査（厚生労働省） ※30年度決算
2040	2040
1257	1257
61.62%	61.62%
1.70%	1.80%

※平均経常増減差額について上段は東京都の補助金を除いた額で計上

	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率	施設数	差額率					
																					施設数	差額率	施設数	差額率	施設数
級地別	1級地												151	-1.35%	/	0.56%	151	-1.35%	151	-1.19%	104	-2.68%			
	2級地					85	4.18%	39	0.19%				12	0.53%	/	2.24%	136	2.71%	136	2.71%	158	3.15%			
	3級地	16	4.93%	34	3.21%	4	-1.39%					39	2.73%	64	0.02%	/	1.20%	157	1.85%	171	2.19%	150	2.55%		
	4級地	2	5.74%			19	0.58%				22	-0.19%		23	-0.19%	/	2.25%	66	0.21%	87	0.92%	82	1.52%		
	5級地	5	1.46%			52	2.08%						18	0.54%	/	1.75%	75	1.67%	141	1.75%	75	1.82%			
	6級地	85	2.44%			11	-3.48%						10	2.42%	/	3.73%	106	1.82%	203	1.54%	106	3.02%			
	7級地	23	2.48%			1	-5.31%						5	1.26%	/	3.43%	29	2.00%	339	1.42%	37	0.59%			
	その他	10	6.08%			7	-2.11%						3	-8.97%	/	2.60%	20	0.96%	386	2.02%	26	-1.32%			
タイプ別	従来型	64	1.41%	16	4.23%	47	-1.39%	46	1.99%	21	-0.72%	13	-3.03%	16	2.99%	188	-1.19%	/	0.87%	411	-0.11%	783	0.50%	401	0.17%
	ユニット型	52	4.90%	17	3.35%	36	2.64%	34	7.65%	2	9.81%	9	3.92%	15	2.14%	74	-0.25%	/	1.43%	239	3.08%	496	3.03%	249	3.07%
	地域密着型	4	-3.60%	1	-15.53%	1	12.50%	1	-0.74%	3	-8.50%			2	3.26%	3	4.68%	/	4.68%	15	-1.54%	56	-0.11%	4	5.74%
	従来型+ユニット型	16	4.26%			9	1.32%	1	1.91%	9	2.31%			6	3.35%	13	2.89%	/	3.77%	54	2.97%	133	2.31%	46	2.81%
	従来型+地域密着型	2	4.48%					1	-2.41%					2	-8.36%	/	0.63%	5	-2.03%	52	1.91%	8	0.47%		
	ユニット型+地域密着型	2	6.94%					2	2.55%	3	0.84%			4	0.12%	/	0.53%	11	2.00%	70	0.54%	19	4.35%		
	従来型+ユニット型+地域密着型	1	0.90%			1	0.71%			1	5.12%			2	-1.26%	/	-0.36%	5	0.84%	21	1.74%	3	-5.42%		

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
特別養護老人ホーム平成31年度決算に基づく派遣職員に関する調査結果

【派遣職員について】

都都市名	埼玉県		さいたま市		神奈川県		横浜市		川崎市		相模原市		千葉県		東京都		全体		【参考】関ブロ集計結果		＜首都圏＞昨年度調査結果	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
平成30年度に派遣実績がある	100	68.49%	27	77.14%	60	71.88%	62	76.54%	36	97.30%	16	66.67%	24	68.57%	207	73.40%	541	73.51%	918	62.32%	521	72.77%
平成30年度に派遣実績がない	46	31.51%	8	22.86%	27	28.13%	19	23.46%	1	2.70%	8	33.33%	11	31.43%	75	26.60%	195	26.49%	555	37.68%	195	27.23%

【1施設あたり平均人数】

	期間別	埼玉県	さいたま市	神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉県	東京都	全体平均 *1	【参考】関ブロ集計結果	＜首都圏＞昨年度調査結果
		介護職員	1か月以下	1.12人	1.85人	1.28人	0.83人	1.03人	1.13人	0.96人	0.86人	1.13人
	1か月を超え6か月以下	3.18人	3.08人	4.32人	2.59人	4.11人	4.00人	3.42人	2.22人	3.37人	2.62人	3.93人
	6か月以上	2.38人	3.58人	3.52人	2.95人	4.00人	3.13人	2.75人	1.98人	3.04人	2.48人	3.21人
	合計	6.68人	8.50人	9.12人	6.37人	9.14人	8.25人	7.13人	5.06人	7.53人	5.98人	8.28人
看護職員	1か月以下	0.48人	0.62人	0.17人	1.17人	1.00人	0.06人	0.83人	0.25人	0.57人	0.34人	0.83人
	1か月を超え6か月以下	1.35人	1.77人	1.00人	0.96人	1.39人	0.81人	0.75人	0.78人	1.10人	0.74人	1.11人
	6か月以上	0.73人	0.88人	0.42人	0.42人	0.67人	0.88人	0.54人	0.33人	0.61人	0.53人	0.60人
	合計	2.56人	3.27人	1.59人	2.55人	3.06人	1.75人	2.13人	1.36人	2.28人	1.60人	2.55人
その他職員	1か月以下	0.02人	0.04人	0.03人	0.05人	0.14人	0.06人	0.04人	0.01人	0.05人	0.04人	0.05人
	1か月を超え6か月以下	0.10人	0.12人	0.12人	0.01人	0.00人	0.00人	0.21人	0.09人	0.08人	0.10人	0.15人
	6か月以上	0.26人	0.23人	0.12人	0.16人	0.33人	0.25人	0.04人	0.17人	0.20人	0.32人	0.20人
	合計	0.38人	0.38人	0.26人	0.22人	0.47人	0.31人	0.29人	0.27人	0.32人	0.45人	0.40人
合計	1か月以下	1.62人	2.50人	1.48人	2.05人	2.17人	1.25人	1.83人	1.12人	1.75人	1.25人	2.02人
	1か月を超え6か月以下	4.63人	4.96人	5.43人	3.56人	5.50人	4.81人	4.38人	3.09人	4.55人	3.45人	5.20人
	6か月以上	3.37人	4.69人	4.06人	3.53人	5.00人	4.25人	3.33人	2.48人	3.84人	3.33人	4.01人
	合計	9.62人	12.15人	10.97人	9.14人	12.67人	10.31人	9.54人	6.69人	10.14人	8.03人	11.24人

【平均金額】

	埼玉県	さいたま市	神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	千葉県	東京都	全体平均	【参考】関ブロ集計結果	＜首都圏＞昨年度調査結果
1施設あたり *2	14,350,867円	18,963,334円	18,713,692円	22,522,546円	24,323,423円	17,847,862円	14,038,943円	18,960,785円	18,715,182円	13,313,641円	18,097,724円
派遣職員1人あたり *3	1,491,774円	1,560,274円	1,705,739円	1,861,620円	1,920,270円	1,730,702円	1,471,330円	2,144,744円	1,735,807円	1,521,572円	1,612,447円

*1=(各都都市の人数×各都都市の派遣実績がある施設数)/各都都市の派遣実績がある施設数

*2=(各都都市の1施設あたりの金額×各都都市の派遣実績がある施設数)/各都都市の派遣実績がある施設数

*3=(各都都市の派遣職員1人あたりの金額×各都都市の派遣職員合計人数×各都都市の派遣実績がある施設数)/(各都都市の派遣実績がある施設数×各都都市の派遣職員合計人数)

※集計結果には、異常値が含まれて集計されている場合もある。

無料提供

災害時・非常食

アルファ米を食べてみよう！

提供元：NEC

内容：アルファ米（尾西食品）

種類：ごはんシリーズ

①田舎ごはん50食分セット



②チキンライス50食分セット



③ドライカレー50食分セット



※賞味期限 2021年2月まで

※1箱は50食分です。1度に50食分が出来上がります。

※1食ごとの小分けになっていません。

希望する内容をご記入ください。

希望個数※味が3種類ございます。

田舎ごはん 箱 / チキンライス 箱 / ドライカレー 箱

お届け方法

郵送 引き取り（住所：NEC玉川事業場）

※郵送希望の場合には下記に住所等ご記入ください。

氏名（名称）、住所、連絡先：

活用方法（自由記載）

お問合せ・お申込先

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会
ボランティア活動振興センター

開館日時

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時

電話：044-739-8718

FAX：044-739-8739



2020年11月10日(火)

バルーンアートを 作ってみよう! 飾ってみよう!

カラフルなバルーンを作って楽しんだり、部屋をバルーンで装飾して、いつもと違う空間を作ってみませんか? イベントが盛り上がることまちがいない! バルーンテクニックを知って学んで地域活動に活かしましょう。

【講師】

バルーンパフォーマー 近藤多恵(タエリン)さん

【申込方法】

右記 QR コード、または川崎市福祉人材バンクホームページ内の申込フォームからお申込



申込フォーム QR コード

【申込み締切】

2020年10月16日(金) 17:00 締切

第1部 (午前の部)

★作ってみよう!★

10:00~12:00

第2部 (午後の部)

★飾りを習って飾ろう!★

13:30~15:30

< 対象 >

川崎市内に在勤する福祉・地域業務に従事されている方、または地域活動をされている方

< 定員 >

- ★各回 会場参加 10名
- ★オンライン参加(視聴のみ)

※ 定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。また、状況によりオンラインのみとなります。

※ 親子での参加可
(保育はありません)

< 参加費 >

無 料

【お問合せ・申込み】

川崎市社会福祉協議会
川崎市福祉人材バンク

〒211-0053
川崎市中原区上小田中
6-22-5

TEL:044-733-8726

FAX:044-739-8740

【講師プロフィール】

バルーンパフォーマー 近藤多恵（タエリン）さん

タエリンとして活動を始めて10年が経ちました。
 バルーンをメインに簡単なマジック、皿回し、ダンスを交えた
 バルーンパフォーマーもやっています。「バルーンでハッピーに！！」
 をモットーに地元幸区を中心に活動をして来ましたがコロナの今、
 イベントがなくなり活動はお休み状態です。
 最近はバルーンアートの楽しさを再認識し技術向上に励んでいます。



【申込方法】

本紙表面のQRコードまたは、川崎市福祉人材バンクホームページ内の本講座申込専用フォームからお申込み下さい。

※申込時に受付完了メールが届いているか必ず確認してください。メールが届かない場合、受付ができていない可能性がありますので、ご注意ください。また、フォームからのお申込みが難しい場合は別途ご連絡ください。

※締切後、抽選結果通知を郵送かメールにてご連絡いたします。10月27日（火）を過ぎても届かない場合は、お手数ですが、川崎市福祉人材バンクまでお問い合わせください。

【オンラインでお申込みの場合】

Zoomでの視聴のみとなります。当日、配信と同時にバルーンを作成される方はご自身でバルーンをご用意いただきます。詳細は受講決定後にメールにてお知らせいたします。



【会 場】

川崎市総合福祉センター

（エポックなかはら）7階会議室

JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分

